

各位

杜の都信用金庫

2025年度決算状況（速報）について

杜の都信用金庫の2025年度決算状況についてお知らせいたします。

【1】収益面について**◇ 増収・減益となりました。**

（％表示は対前期比増減率）

	経常収益		経常利益		コア業務純益		最終当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月	7,246	16.2	1,001	3.7	1,554	3.3	846	△5.1
2025年3月	6,230	9.7	965	11.2	1,505	2.4	891	43.7

貸出金利息を中心とした資金運用収益が増加したことにより増収となり、経常利益、コア業務純益は増益となりましたが、法人税等調整額が増加したことにより、当期純利益は減益となりました。

【2】業容面について**◇ 預金残高は減少しましたが、貸出金残高は増加しました。**

（％表示は対前期比増減率）

	預金				貸出金			
	平残		末残		平残		末残	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月	598,132	△0.6	584,882	△4.0	385,408	4.1	401,241	2.1
2025年3月	602,224	△0.5	609,830	△3.6	369,929	5.0	392,855	5.4

預金は、懸賞付定期預金などの企画商品や年金企画がご好評をいただきましたが、公金預金等が減少したことから全体としては減少しました。

貸出金は、「もりしんビジネスモデル」の実践により、お客さまや地域ごとの課題等に応じた円滑な資金供給や付加価値の高い提案に努めてまいりましたことから、平残・末残ともに増加しました。

【3】健全性について**◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。**

	自己資本比率		不良債権比率	
	数値	変動	数値	変動
2026年3月末	12.18%	0.63ポイント上昇	1.80%	1.16ポイント低下
2025年3月末	11.55%	1.30ポイント上昇	2.96%	0.28ポイント上昇

※不良債権比率は、金融再生法に基づき表記しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を十分保っております。

杜の都信用金庫は、笑顔と感謝の気持ちを持ち続け、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまの課題解決に貢献できるよう努めてまいります。